

許可申請様式計算シート

(様式-4～様式-7)

1. 行為区域の概要

様式-4

(※位置及び行為前後の土地利用区分のわかる平面図を添付すること)

行為区域位置 住所： 〇〇市〇〇区〇〇町

行為面積 0.0000 (ha)

行為前後の土地利用区分

区分	土地利用の形態の細区分	流出係数	行為前面積 (ha)	行為後面積 (ha)	
宅地等に該当する土地	第1号関連	宅地	0.90		
		池沼	1.00		
		水路	1.00		
		ため池	1.00		
		道路(法面を有しないもの)	0.90		
		道路(法面を有するもの)			
		鉄道線路(法面を有しないもの)	0.90		
		鉄道線路(法面を有するもの)			
		飛行場(法面を有しないもの)	0.90		
		飛行場(法面を有するもの)			
		宅地等以外の土地	関第2号連号	不浸透性材料により舗装された土地(法面を除く)	0.95
不浸透性材料により覆われた法面	1.00				
第3号関連	ゴルフ場(雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)		0.50		
	運動場その他これに類する施設(雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)		0.80		
	ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められた土地		0.50		
土第上地3記以外に1の掲号土げか地るら	山地		0.30		
	人工的に造成され植生に覆われた法面		0.40		
	林地、耕地、原野その他ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められていない土地		0.20		
その他					
面積計			0.0000	0.0000	
平均流出係数			#DIV/0!	#DIV/0!	

雨水浸透阻害行為前後の最大雨水流出量

合理式 $Q = 1/360 \cdot f \cdot r \cdot A$

Q: 流量 (m^3/s)

f: 流出係数 (様式-1より)

r: 最大降雨強度(10分間) (mm/h) (基準降雨より)

A: 集水面積 (ha) (様式-1より)

① 行為前の最大雨水流出量

$$Q = 1/360 \times \#DIV/0! \times 121.6 \times 0.0000 = \#DIV/0! \text{ m}^3/\text{s}$$

② 行為後の最大雨水流出量

$$Q = 1/360 \times \#DIV/0! \times 121.6 \times 0.0000 = \#DIV/0! \text{ m}^3/\text{s}$$

よって,

$$\#DIV/0! \text{ m}^3/\text{s} - \#DIV/0! \text{ m}^3/\text{s} = \#DIV/0! \text{ m}^3/\text{s}$$

$\#DIV/0! \text{ m}^3/\text{s}$ 分をカットする対策が必要。

調節計算結果

最大流入量(行為後) 0.246360 m³/s

最大放流量 0.066504 m³/s < 許容放流量 0.070500 m³/s

